



毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です  
～子どもの読書活動を推進しましょう～

## 福岡市総合図書館『こどもとしゃかん』紹介

「わあ、楽しそう。」「早く読みたい!」「あの本あるかな?」  
『こどもとしゃかん』からは、そんな子どもたちの声が聞こえてきそうです。



総合図書館『こどもとしゃかん』では、子どもたちに「本を読む楽しさを感じてほしい。」また、保護者の方々には、子どもたちの発達段階に応じて「こんな本を読んでもらってほしい。」という思いから、さまざまな展示、コーナーを設けています。

## 子どもたちが親しみやすい展示の工夫



子どもたちが本を選びやすいようにさまざまな工夫がされています。靴を脱いでじゅうたんの上でも本が読めます。わからないことがあると、カウンターにいる読書相談員がていねいに教えてくれます。

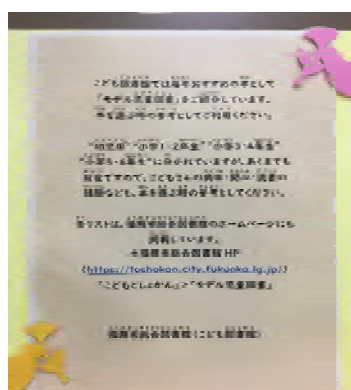
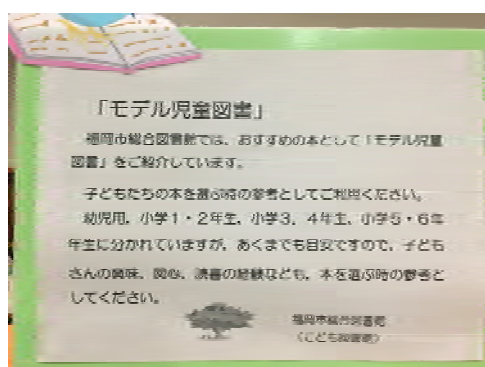
## 季節や行事に合わせた本の紹介



『こどもとしまかん』に行くとき最初に目にするコーナーです。季節や行事ごとにさまざまな展示をしています。

6月は「としまかんでどうぶつえん」です。コロナ禍の中、動物園に行けなくても、動物のことを知ることで、わくわくときどきしそうです。ページをめくるたびに新しい発見もあることでしょう。また、たくさんの疑問もわいてくることでしょう。

## 発達段階に応じた本の紹介



子どもの発達段階に応じて、「モデル図書」として紹介しています。どんな本を子どもに与えたら良いのかと思われたとき参考になります。福岡市総合図書館のホームページでも紹介しています。

## さまざまなジャンルの本の配架の工夫



どこにどんな本が配架されているか地図で紹介されています。  
 また、本棚の上にはどんな本が配架されているか、文字と絵で紹介されています。  
 ひらがなで書いてあるため、小学校低学年の子たちも探しやすいです。  
 子どもたちが自分の読みたい本を見つけた時の喜びは大きいものです。  
 学校、公民館等、また、それぞれの家庭でも子どもたちが自分で本を選びやすい環境を整えましょう。

## 子どもたちに人気の本の紹介



ドラえもん、かいけつゾロリ、アンパンマンなど、子どもたちに大人気の本のコーナーです。

タイムふろしきの展示もあります。

人気の本はコーナーを設けたり、面だし（表紙を見せる展示）にした配架をしたりすることで、より借りやすくなります。また、近くにその本に関する物を置くと、読書の意欲が一層わきます。



# Hello! 学校図書館 金武小学校

本年度も福岡市内の小中学校、特別支援学校を訪問し、図書館の様子などを紹介していきます。学校図書館の運営や環境づくりなどの参考になればと思います。

今月紹介させていただく西区の金武小学校は、23学級673名の学校です。コロナ禍の中でしたが、校長先生に笑顔で出迎えていただき、学校の様子を話していただきました。図書館までは教頭先生に案内していただきました。

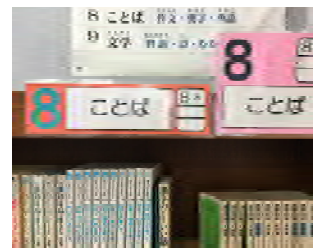
図書館では、ちょうど1年生の国語学習で、図書館の使い方を学校司書の先生から教えてもらい、学習しているところでした。入学して間もない時期でしたが、非常に落ち着いて話が聞くことができ、その後の本の借り方も学んだ通りにできていて感心しました。



## ○きれいにすっきりと整理された配架の工夫



## ○図書館の決まりや貸し出しの仕方が分かる工夫



本の場合、日本十進法分類法、貸し出し、返却の仕方など、わかりやすく掲示されています。



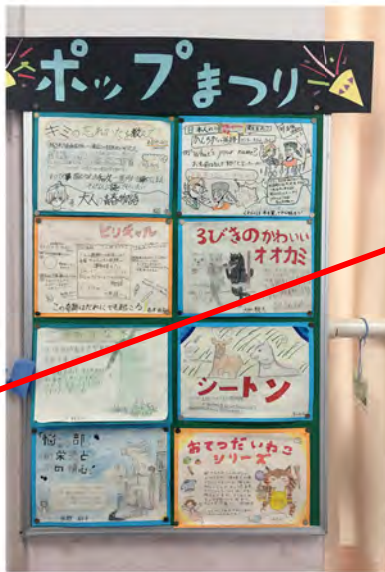
入口に掲示されていました。入館する前に確認することが大切です。

○「学習センター」としての工夫



「並行読書」(教科書と関連させて、読書すること)がしやすいように工夫されています。  
読書が苦手な子たちが、教科書で学習したことを思い出して、手に取ってくれそうです。

○図書委員会の活動がわかる工夫



図書委員さんたちが、1年生に読んでほしい本を集めてくれました。「ポップまつり」も本選びの参考になることでしょう。

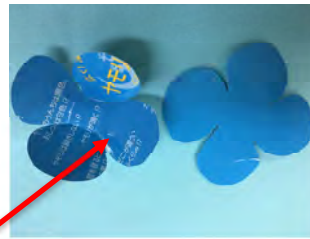


## 本の帯を使った6月の掲示・展示

学校図書館には、「心の居場所」としての役割があります。

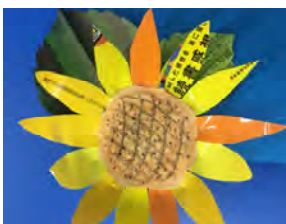
季節を感じる掲示物があると、読書をするのと同時に心が安らぎます。

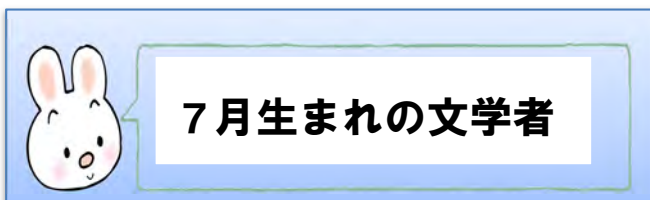
この季節は、さわやかな色の本の帯であじさいやもうすぐ訪れる夏の花、ひまわりを作ってみましょう。少し、工夫して立体的に作ると図書館に来た子どもたちも「わあ!」と、喜ぶことでしょう。



花びらは、折り目を付けたたり、切り目を入れて内側に起こしたりします。それをペットボトルの底を切り取り、そこに貼るとさらに立体的になります。

葉は、色画用紙をくしゃくしゃにし、葉脈をつまんで折ると生き生きとした葉になります。ちょっとした工夫で立体的なあじさいが出来上がります。帯の紙は光沢もあり、こしもあるので、制作しやすいです。





齊藤 洋（さいとう ひろし）と「ルドルフとイッパイアッテナ」

1952年7月16日 東京都江戸川区生まれ

齊藤氏は、大学で非常勤講師を務めていたある日、たまたま電車の中で読む本を家に忘れてきたため、駅の売店で夕刊を買ったところ、その中に講談社の児童文学新人賞募集の記事を見つけ、3か月足らずの短い期間で、原稿用紙200枚程度の「ルドルフとイッパイアッテナ」を書き上げ、応募し、講談社児童文学新人賞を受賞しました。

「ルドルフとイッパイアッテナ」の活躍する舞台は、齊藤氏が育った江戸川区北小岩で、一匹の黒ねこが、仲間のねことさまざまなことを学んでいく物語です。この物語の主人公のルドルフという名前は、齊藤氏の奥さんが西武デパートで買ってきたぬいぐるみにつけてあった名前、また、イッパイアッテナは、物語を書いている途中で思いついた名前だそうです。

「ルドルフとイッパイアッテナ」は、30年以上にわたって読み継がれてきた作品です。齊藤氏の作品は、「ルドルフ ともだち ひとりだち」「ルドルフとスノーホワイト」など、出版点数は200冊を超えています。

山中 恒（やまなか ひさし）と「オニの子・ブン」

1931年7月20日 北海道小樽市生まれ

7人兄弟の長男であった山中氏は、大学卒業後は、百貨店宣伝部に勤めながら児童文学の創作を始め、1956年「赤毛のポチ」で日本児童文学者協会新人賞を受賞し、児童文学作家としてデビューしました。

「オニの子・ブン」は、山中氏の創作姿勢が変わる転機となった作品です。この作品の発想は、早大生だった頃、金子満晴の詩集「鬼の子の唄」を読んだときの感動をもとにした創作メモです。このメモをもとに最初原稿80枚の作品を書き、その後、低学年の子どもを対象にして120枚に書き足し1962年に出版されました。

山中氏が子ども向けの物語を執筆するときは、子どもたちが面白がって読んでもらえたらと思い、いつも子どもと遊んでいるみたいな気持ちで書いているそうです。

山中氏の作品は、「とんでろじいちゃん」（野間児童文芸賞）「三人泣きばやし」（産経児童出版文化賞）「天文子守歌」などあります。

【あとがき】 雨に濡れた紫陽花が色とりどりに咲いています。こんな色の紫陽花もあったのだと、その美しさに心がなごみます。今年は例年より早く梅雨入りしましたが、雨の日が少ないように思います。久しぶりの雨の日は雨音を聞きながら、先生のとっておきの1冊の「読み聞かせ」をしたり、「読書クイズ」を出し合ったりと、子どもたちと読書を楽しんでみてください。

「読書の秋」に加えて、「読書の梅雨」も…と、思うこの頃です。

（足立）





## 図書館員のひみつの本棚 182回

睡蓮の花が美しい季節を迎えました。睡蓮の絵をたくさん描いた画家と言えば、印象派を代表するフランスの画家クロード・モネが有名です。モネの大作「睡蓮」のモデルになった庭は一般公開されており、たくさんの観光客が訪れるそうです。今回は、モネの庭へ行った気分になれる物語を紹介します。

### 『リネア：モネの庭で』

クリスティーナ・ビョルク／文 レーナ・アンデション／絵 世界文化社 1993年

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★★★ 中学生★★☆  
高校★☆☆ 一般★☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

### <本の紹介>

リネアは、スウェーデンに住む花が大好きな女の子。元庭師のブルームさんにモネの画集を見せてもらううちに、彼女はモネが描いた美しい「モネの庭」にあこがれを抱くようになります。ブルームさんとパリにやってきたリネアは、美術館で印象派の絵について学んだあと、パリ郊外にあるモネの庭を訪れ、睡蓮池の“日本の橋”の上に立ってうれしさのあまり涙を流します。そして幸運にもモネの子孫と出会ったリネアは、モネやその家族についてのエピソードも聞くことができたのでした。たくさんのイラストや写真、そしてモネの絵画が載っており、モネや印象派について楽しく知ることができる1冊です。

### <子どもに手渡す時のポイント>

シリーズで、リネアが1年間の自然観察をつづった『リネアの12か月』(1994)や、室内で花の育て方を教えてくれる『リネアの小さな庭』(1994)が出版されています。気に入った子どもには、こちらも手渡してみてください。ただし、3冊とも現在書店では入手が難しいため(出版社品切れ、重版未定)、図書館をご利用ください。



発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課  
電話：092-852-0639  
FAX：092-852-0801